

各学校長 様

全国公立小中学校事務職員研究会
会長 阿部 貴子

学校での教材備品の整備に関する調査について（依頼）

日頃より、本会の活動に対しまして格別の御理解・御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

本会は、会員の資質向上を図り、学校事務の研究をもって学校教育の推進に寄与することを目的としています。

つきましては、下記の趣旨を御理解いただき、調査に御協力くださいますようお願い申し上げます。

記

新学習指導要領が、令和 2 年度から小学校、令和 3 年度から中学校において実施されます。子どもたちの確かな学力の育成を図るためには、学校教材の安定的かつ計画的な整備を図ることが極めて重要と考えます。

そこで、学校での教材備品の整備状況について調査を実施し、今後の整備に向けた基礎資料とさせていただきます。

○貴校のデータ	
貴校名	_____
貴校種	<u>1. 小学校</u> <u>2. 中学校</u>
貴校所在地（都道府県）	_____
（区市町村）	_____
貴校の学級数	普通学級数_____学級 特別支援学級数_____学級
貴校の児童数・生徒数	普通学級 _____名 特別支援学級 _____名
（学級数、児童数、生徒数は令和2年5月1日時点での数値をご記入ください。）	

1. ご回答は回答票にご入力ください。
 - ・ 回答票 1 シート目の「回答の方法」をご参照の上、ご回答ください。
2. 「**貴校のデータ**」は基礎データになりますので、必ず洩れないように入力をお願いいたします。
3. 一般社団法人 日本教材備品協会（J E M A）の H P について
<http://www.jema.or.jp/>

1. 教材整備指針に関する認識について

学習指導要領に対応する教材の整備の為、義務教育諸学校に備える教材の例示品目、整備数量の目安を参考資料として取りまとめた教材整備指針（平成 23 年文部科学省策定）の改訂についてお尋ねします。

1－1

令和元年 8 月に、教材整備指針（平成 23 年文部科学省策定）が改訂されたことはご存知ですか。

1. 知っている
2. 知らない

1－2

上記 1－1 で 1.（知っている）を回答された方にお尋ねします。

教材整備の改訂を何によって知りましたか。（単一回答）

1. 文科省からの情報によって
2. 教育委員会からの説明、情報によって
3. 研修会・勉強会等によって
4. JEMA のパンフレットによって
5. その他（上記以外で知り得た情報があれば、具体的に回答票にご記入ください）

上記以外で知り得た情報先：

1－3

次に記載の改訂された教材整備指針の主な内容をご存知ですか。

（単一回答）

教材整備指針の主な改訂内容

- ① 新学習指導要領（H29改訂）に対応する教材を例示
・プログラミング教育用ソフトウェア・ハードウェア（小学校）・発表板など
- ② 昨今の技術革新等踏まえた教材を例示
・視線／音声入力装置（特別支援学校）・3Dプリンター（中学校）など、
- ③ 学校における教育環境改善に資する教材を例示（働き方改革に関連）
・拡大プリンター、複合機等、

1. 知っている
2. おおよそ知っている
3. 知らない

1－4

上記 1－3 で 1.（知っている）と 2.（おおよそ知っている）を回答された方にお尋ねします。

教材整備指針は貴校においての備品整備の参考になっていますか。
（単一回答）

1. 参考になっている
2. ほぼ参考になっている
3. 参考になっていない
4. わからない

1－5

今回の教材整備指針の改訂で、共用可能な教材として視聴覚機器などのこれまでの教材以外に「学校における教育環境改善に資する教材を例示（働き方改革に関連）」としてとして拡大プリンター、複合機などが新たに入ったことについてご意見をお聞かせください。

また、個々の例示品目や目安の数量についてのご意見もあればお聞かせください。
（自由記述）

2. 教材整備の財政措置に関する認識について

教材整備指針の例示教材等の整備の為、令和 2 年度から開始された新たな財政措置の認識についてお尋ねします。

2-1

新たな教材整備計画等に係る財政措置である、「義務教育諸学校における教材整備計画(令和 2 年度から 11 年度までの 10 年間)」はご存知ですか。(単一回答)

1. 知っている
2. 聞いたことがあるが内容は詳しくわからない
3. 知らない

2-2

上記 2-1 で 1. (知っている) を回答された方にお尋ねします

新たな「義務教育諸学校における教材整備計画」では、教材整備費として全国の公立小学校で約 500 億円、中学校で約 260 億円、特別支援学校で約 40 億円、総額で単年度約 800 億円が※**地方交付税措置**されていることをご存知ですか。(単一回答)

※【地方交付税措置】

地方公共団体間の財源の不均衡を調整し、どの地域に住む国民にも一定の行政サービスが提供できるよう財源保障をするもの。尚、この地方公共団体が学校教材の整備のために必要な標準的な経費については、普通交付税の基準財政需要額に算入している。

1. 知っている
2. 知らない

2-3

令和 2 年度の教材整備費として、1 学級当たり、小学校では約 160 千円、中学校では約 194 千円が地方交付税措置されております。

貴校の※**教材費**予算額は、この措置額に比べていかがですか。(単一回答)

(※貴校の教材整備予算を**普通学級数**で割って下さい。)

※【教材費の定義】

教科等の教育活動において教職員及び児童生徒が使用する備品等（教材）の整備に要する費用（学校図書館図書、給食設備、教育用コンピュータ等及び国庫補助事業（理科教育設備等）は除く）

主な教材費：

- ① 備品購入費（備品として取扱う教材の購入費）
- ② 消耗品費（数年間にわたり使用可能な教材の購入費　さいころ、漢字カード、紙芝居など）
- ③ 備品修繕費（教材の修理や部品の取替えに要する費用）
- ④ 賃借量（教材のリース料）

文部科学省資料から

① 小学校の場合

- 1、 1 学級当たり 130 千円未満である
- 2、 1 学級当たり 130 千円～180 千円未満である
- 3、 1 学級当たり 180 千円以上である

② 中学校の場合

- 1、 1 学級当たり 160 千円未満である
- 2、 1 学級当たり 160 千円～220 千円未満である
- 3、 1 学級当たり 220 千円以上である

3. 教材の整備予算について

教材の整備予算（教材整備に係る予算要求、教材費の実態等）についてお尋ねします。

3-1

貴校での※教材費の配当額についてお尋ねします。

令和2年度の貴校の※教材費の配当額を教えてください。（単位：円）

令和2年度教材費配当額 _____ 円

※【教材費の定義】

教科等の教育活動において教職員及び児童生徒が使用する備品等（教材）の整備に要する費用（学校図書館図書、給食設備、教育用コンピュータ等及び国庫補助事業（理科教育設備等）は除く）

主な教材費：

- ① 備品購入費（備品として取扱う教材の購入費）
- ② 消耗品費（数年簡にわたり使用可能な教材の購入費　さいころ、漢字カード、紙芝居など）
- ③ 備品修繕費（教材の修理や部品の取替えに要する費用）
- ④ 賃借量（教材のリース料）

文部科学省資料から

3-2

貴校の備品費の教科等毎の振り分けは、いくらでしたか。（単位：円）

（金額は、おおよそで結構です）

A. 国語	円
B. 社会	円
C. (小)算数／(中)数学	円
D. 理科	円
E. 生活科（小学校のみ）	円
F. 音楽	円
G. 図画工作／美術	円
H. (小)家庭／(中)技術・家庭	円
I. (小)体育／(中)保健体育	円
J. (小)外国語活動・外国語／(中)外国語	円
K. 道徳	円
L. 総合的な学習の時間	円
M. 特別活動	円
N. 特別支援教育	円
O. 共用備品	円

P. 管理備品	円
Q. 防災対策	円
R. その他	円

※その他は、別の用途があるようでしたら枠の中に何に当てたかをご記入ください。
但し、図書費、感染症対策等に係る費用は除いてください。

3-3

次年度の教材整備（購入）について、事前に教育委員会から、必要品目並びに必要金額の調査がありますか。（単一回答）

1. 調査がある
2. 調査はない

3-4

上記 3-3 で 1.（調査がある）を回答された方にお尋ねします。

3-4-1

事前に予算の枠が提示され、その枠の中で必要品目を提出していますか。（単一回答）

1. 提出している
2. 提出していない

3-4-2

事前に予算の枠が提示され、その枠の中で必要品目を提出しているが、別途、枠外の要求も可能ですか。（単一回答）

1. 可能である
2. 可能ではない

3-4-3

予算の枠は無いが、必要品目を提出した後、教育委員会からの査定がありますか。（単一回答）

1. 査定がある
2. 査定はない

3－5

上記 3－3 で 2.（調査はない）を回答された方にお尋ねします。

教育委員会からの調査がない場合、学校から教育委員会に教材の整備予算を要求していますか。

1. 要求している
2. 要求していない

4、教材の整備状況について

教材の整備状況についてお尋ねします。

4-1

教材整備指針（改訂）で新規に例示された品目についての整備状況をお尋ねします。
整備状況の欄にチェックしてください。

学校の種類		教科	教材名	目安数量	整備状況		
小学校	中学校				整備済	これから整備	未定
○		共用	パネルシアター	1学年に1台程度			
○		算数	計算ブロック	1人に1台程度			
	○	技術	3Dプリンター	8人に1台程度			
○	○	音楽	音楽関係ソフトウェア（創作や演奏等が可能なソフト等）	1人1程度			
○	○	体育	ユニバーサルスポーツ用具	指導内容により異なる			
○	○	特別支援教育	字幕提示システム（音声認識システム、字幕提示機器など）	1学級に1程度			

4-2

文部科学省から新型コロナウイルス感染症対策として「学校の新しい生活様式」が示されました。これに関することについてお尋ねします。

- ① 貴校で予防対策上、これから整備予定（整備希望）の備品について記載ください。
（複数あれば優先順位順にお願いします）

（自由記述）

- ② 貴校で予防対策上、今後、数量の見直しが必要な教材教具があれば教えてください。
（例：○○は複数（グループ）での使用を児童生徒1人1人に、
○○は複数（グループ）での使用をクラスで1台に） など

（自由記述）

5. 特別支援教育の教材整備について

特別支援教育の教材整備についてお尋ねします。

5-1

貴校に特別支援学級はありますか。（単一回答）

1. 特別支援学級はある
2. 特別支援学級はない

5-2

上記 5-1 で 1.（特別支援学級はある）を回答された方にお尋ねします。

特別支援学級の教材整備予算について、単独で特別支援学級用の予算として、もしくは通常予算にプラス（上積み）して配当されていますか。（単一回答）

1. 配当されている
2. 配当されていないが、校内予算の中で配慮はしている
3. 配当されていないし、校内予算の中でも特に配慮はしていない

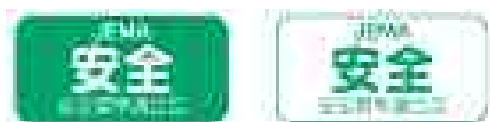
6、JEMA 安全基準適合認定マークの認識について

6-1

一般社団法人日本教材備品協会（J E M A）では、教材教具からの有害物質（学校衛生環境の基準対象 6 品目）の拡散が当協会の基準以下である場合には JEMA 安全基準適合認定マーク を各教材カタログ等に表示しております。

そこで、この J E M A 安全基準適合認定マーク についてお尋ねします。（単一回答）

J E M A 安全基準適合認定マーク を知っていますか。



1. 知っている
2. 見た事はあるが、内容は知らない
3. 知らないし、見た事もない

6-2

上記 6-1 で 1（J E M A 安全基準適合認定マークを知っている）を回答された方にお尋ねします。

教材教具を選定する際に、J E M A 安全基準適合認定マーク は参考、又は考慮されておられますか。

1. 参考、又は考慮している。
2. 参考、又は考慮していない

調査にご協力いただき、大変ありがとうございました。